

# 緑化センター

# みにがいど

植物のパンダ

ハンカチノキ

緑化センターの本館前にハンカチノキが花をつけています。

まるで白いハンカチをぶら下げたような花をつけるハンカチノキは中国原産で、フランス人神父のアルマン・ダビッドによって発見され、ヨーロッパに紹介されました。ダビッド神父はジャイアントパンダやシフソウの発見でも有名で、植物界においてのハンカチノキの発見はパンダの発見に劣らない発見と評価されています。



## ハンカチノキ ダビディア科

ハンカチノキは、中国の四川省などの標高2000mの森林に自生する落葉高木で現地では20mの高さになる樹木。ダビディア科は1科1属1種でハンカチノキのみです。

花は前年の枝から葉とともに出て垂れ下がる。大小2枚の白い花びらのように見えるものは「苞(ほう)」で、これが目立つので、ハンカチノキ、ハトノキなどの名前が付けられています。

科名のダビディアは発見者の名前に由来しています。



コーヒーで一息入れませんか  
緑化センター レストハウス